市民が考えたバラエティーショー

「お話めぐり音めぐり」1月9日

小田原市民会館に絵本作家飯野さんら

小田原市本町の市民会館小ホールで1月9日午後2時から、「お話しめぐり音めぐり～親子で旅するバラエティーショー」と題したイベントが開かれる。

親子で新春の1日を楽しく過ごすことを目的に、子どもたちに人気の絵本作家による絵本の読み語り、なかなか聴く機会のないアイルランド民話の語りや、民族音楽のライブをまとめたバラエティ豊かな内容。

主催はおだわら文化事業実行委員会（小田原市・一般財団法人小田原市事業協会）、企画制作、運営は今年度のアートマネジメント・ワークショップ受講生ら。

第1部ではイラストレーター、絵本作家の飯野和好さん、同じく絵本作家の長野ヒデ子さん。それぞれが絵本を読み聞かせるほか、飯野さんは浪曲を、長野さんは紙芝居も披露する。

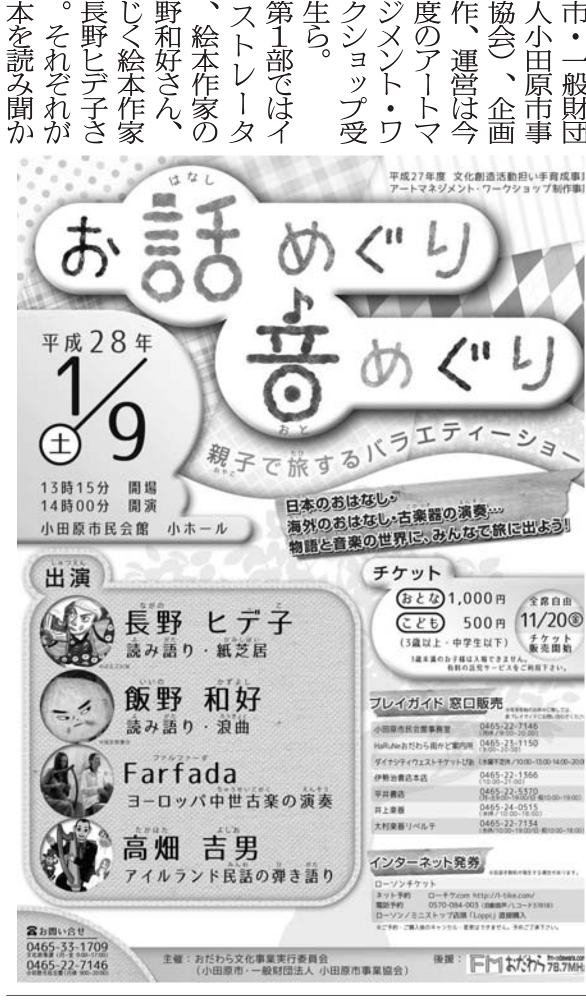
第2部では、Farfada（ファルファーダ）が中世の古楽器を演奏。中世のハープ、プサルテリを爪弾くSallyとペルシャのトンバク、ダフをたたくLeoの中世古楽デュオが、異国情緒あふれる音楽の世界にいざなう。

さらに、吟遊詩人、語り、妖精博士の高畑吉男さんが、アイルランドの民話を語る。

チケットは大人1000円、子供（3歳以上・中学生以下）500円。全席自由で、3歳未満入場不可（有料託児サービスあり）。

市民会館事務室、HaRuNe小田原まちかど案内所、ダイナシティウエスト チケットぴあ、伊勢治書店本店、平井書店、大村楽器リベルテ、井上楽器、ローソンチケットなどで販売中。

問い合わせは小田原市文化政策課（☎0465－33－1706）または市民会館（☎22－7146）へ。


平成27年度 文化創造活動担い手育成事業
アートマネジメント・ワークショップ制作事業
お話めぐり音めぐり
平成28年 1/9（土）
13時15分 開場
14時00分 開演
小田原市民会館 小ホール
親子で旅するバラエティーショー
日本のおはなし・海外のおはなし・古楽器の演奏…
物語と音楽の世界に、みんなで旅に出よう！
出演
長野 ヒデ子 読み語り・紙芝居
飯野 和好 読み語り・浪曲
Farfada ヨーロッパ中世古楽の演奏
高畑 吉男 アイルランド民話の弾き語り
チケット
おとな 1,000円
こども 500円
（3歳以上・中学生以下）
全席自由 11/20 チケット販売開始
プレイガイド 窓口販売
インターネット発券
ローソンチケット
お問い合せ 0465-33-1709 0465-22-7146
主催：おだわら文化事業実行委員会（小田原市・一般財団法人 小田原市事業協会）
後援：FMおだわら 78.7MHz

酒匂川流域から未来へ

『つながる』

農業とエネルギー ③

太陽の恵みをいっぱい受けて育ったミカン畑の連なる、小田原市内の里山風景。ここ最近は、久野や荻窪の丘陵地を見渡すと、キラリと光る太陽光発電パネルも見られるようになった。こうした風景のかげに、農産物もエネルギーも安心安全なものを地域の皆でつくれたら―との思いで、コツコツと小さな取り組みを重ねる人たちの存在がある。その一部を紹介する。

（短期集中・不定期連載）

農業をすでにやっている人、これからやってみたい人。同じ地域に住む同士、気軽につながりたい。そんな思いを持つ人たちへ向けて今年9月、小田原市曽我別所の梅の里センターで農業のシンポジウムが開かれた。テーマは「農業とエネルギーの組み合わせで地域を元気に～素人から発信する新しい農業のかたち」。

主催したのは小田原市内で耕作放棄寸前となったミカン畑を再生し、収穫したミカンの商品化などに取り組む「かなごて未来プロジェクト おひるねみかんばたけ」。かなごてファーム、創発的地域づくり連携推進センター酒匂川流域・小田原支部が共催した。

加藤憲一市長をはじめ、東京農工大学など学術関係者、地元で長く活動する曽我山応援隊、NPO法人小田原食とみどりなど、農業や食に関する地域活動の関係者らも多数集まり、活発な情報交換があった。

基調講演の講師には、愛媛県で福祉事業や無農薬農法に取り組んでいる佐伯康人さんが招かれた。佐伯さんは元ロックバンドのボーカルで、脳性まひの三つ子を授かったことをきっかけに、福祉や農業と関わっていった。

小田原市曽我の田んぼで先月開かれた佐伯さん（左端）の農業塾には定員を超える受講者が集まった

この佐伯さんによる無農薬農法の実践は、思った以上の大反響。参加者の関心は高く、シンポジウム翌日には、急きょ曽我の田んぼで特別レクチャーも開かれ、質問が飛び交った。

……

佐伯さんは、絶対に不可能と言われた無農薬のリンゴ栽培に成功し『奇跡のリンゴ』という映画にもなった「木村式農法」（青森県の木村秋則さんによる自然農法）を実践する第一人者でもある。

また、佐伯さんが愛媛で運営している「パーソナルアシスタント青空」は、障害者を支援する福祉事業所。障害のある人に、佐伯さんの手がける自然栽培の田畑で働いてもらうことで自立を支援しようと取り組み、地域福祉のモデルケースとしても注目されている。

その佐伯さんが、シンポジウムでの小田原の人たちの熱意に応え、引き続き曽我の田んぼで指導してくれることになった。先月22日に第1回目の「農業塾」があり30人の定員をはるかに超える受講者が集まった。第2回は1月、第3回は4月に開講予定という。

同塾の運営事務局、かなごてファームの共同代表、小山田大和さんと川久保和美さんは今月初め、愛媛県に佐伯さんを訪ねた。同塾の今後についての打ち合わせも兼ねていたが、メーンは梅農家として県知事賞の受賞実績を持つ川久保さんによる梅の木の剪定講習。小田原と愛媛の民間活動が、一方通行ではなく相互に農業でつながった。

さらに、佐伯さんの持つノウハウは、農業のみならず地域福祉や雇用促進の取り組みにもヒントを与えてくれたようだ。

高校生に語りかける小山田さんら

……

小山田さんたちがミカン畑を通じて立ち上げたプロジェクトの活動は、今年度の同市市民活動応援補助金交付事業の一つにも選ばれている。ほかにも「W－BRIDGE」（※注）という環境活動支援事業に採択された。

ミカン栽培にとどまらず、エゴマ、ヒマワリの栽培にもチャレンジし、地域で人手とお金をまわす商品化へ―。というのも採択事業の一環だ。

その中で小山田さんは県立小田原総合ビジネス高校の商業科の授業で生徒たちに同プロジェクトを紹介。先日、エゴマ油の販売法やラベルデザインの提案を受けた。完成が間に合えば、今月23日に曽我のミカン畑で開かれる「大収穫祭」でお披露目し、販売する予定という。

昨年、同プロジェクトから初めて商品化された「おひるねみかんジュース」も、今年収穫したばかりのミカンを使い、新たに製造が始まろうとしている。早くも購入希望者から問い合わせがきているそうだ。

小山田さんたちのまいた小さな種から、一つひとつ、新しいつながりを生む連鎖が起きつつある。

連鎖はさざ波のように続き、次は農業とエネルギーの組み合わせで地域を元気にする「ソーラーシェアリング」へ―と、夢をふくらませている。

※注＝W－BRIDGEは、早稲田大学と株式会社ブリヂストンが、環境問題への貢献を目的に2009年から進めている連携研究プロジェクト。「大学」「企業」「生活者・地域」の三者一体での研究・活動を支援して、「環境活動モデル」を設計、実施、発展させ、優れた環境活動モデルの社会普及を目指す。

（④へ続く）

※来週以降掲載

音楽から時代を知る「時の年輪・音楽史講座」

政治史研究家　竹村　忠孝

唱歌『冬の夜』

◆122◆

明治45年

『尋常小学唱歌 第三学年用』に発表

「冬の夜」

文部省唱歌

一
燈火ちかく
衣縫ふ母は
春の遊の
樂しさ語る。
居並ぶ子どもは
指を折りつつ、
日数かぞへて
喜び勇む。
圍爐裏火は
とろとろ、
外は吹雪。

二
圍爐裏のはたに
縄なふ父は
過ぎしいくさの
手柄を語る。
居並ぶ子どもは
ねむさ忘れて、
耳を傾け、
こぶしを握る。
圍爐裏火は
とろとろ、
外は吹雪。

明治政府は、中央集権の近代国家の建設には教育が必要課題とし、明治5年に全国的に学校を設置する学制を公布し、義務教育制度を確立した。政府は道徳倫理としての教育方針として、明治23年10月30日、教育勅語（明治天皇が教育に関して与えた勅語）を渙発。

囲炉裏を囲み、父は縄をない、母は衣を縫う

修身教育が始まり「祖先と家」を唱歌で表現

日清戦争、日露戦争の後に作られたが、温かい家庭の光景を感じる

《教育ニ関スル勅語》

朕惟フニ我カ皇祖皇宗国ヲ肇ムルコト宏遠ニ徳ヲ樹ツルコト深厚ナリ

我カ臣民克ク忠ニ克ク孝ニ億兆心ヲ一ニシテ世世厥ノ美ヲ済セルハ此レ我カ国体ノ精華ニシテ教育ノ淵源亦実ニ此ニ存ス

爾臣民父母ニ孝ニ兄弟ニ友ニ夫婦相和シ朋友相信シ恭倹己レヲ持シ博愛衆ニ及ホシ学ヲ修メ業ヲ習ヒ以テ智能ヲ啓発シ徳器ヲ成就シ進テ公益ヲ広メ世務ヲ開キ常ニ国憲ヲ重ンシ国法ニ遵ヒ一旦緩急アレハ義勇公ニ奉シ以テ天壌無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ

是ノ如キハ獨リ朕カ忠良ノ臣民タルノミナラス又以テ爾祖先ノ遺風ヲ顕彰スルニ足ラン

斯ノ道ハ実ニ我カ皇祖皇宗ノ遺訓ニシテ子孫臣民ノ倶ニ遵守スヘキ所之ヲ古今ニ通シテ謬ラス之ヲ中外ニ施シテ悖ラス

朕爾臣民ト倶ニ拳拳服膺シテ咸其徳ヲ一ニセンコトヲ庶幾フ

明治二十三年十月三十日

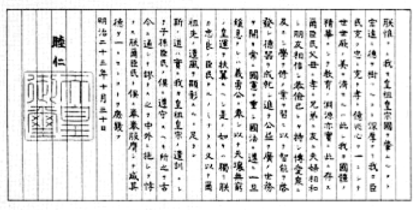
御名　御璽

《教育勅語の口語文訳・国民道徳協会の訳文抜粋による》

私は、私達の祖先が、遠大な理想のもとに、道義国家の実現をめざして、日本の国をおはじめになったものと信じます。そして、国民は忠孝両全の道を全うして、全国民が心を合わせて努力した結果、今日に至るまで、見事な成果をあげて参りましたことは、もとより日本のすぐれた国柄の賜物といわねばなりませんが、私は教育の根本もまた、道義立国の達成にあると信じます。国民の皆さんは、子は親に孝養を尽くし、兄弟・姉妹は互いに力を合わせて助け合い、夫婦は仲睦まじく解け合い、友人は胸襟を開いて信じ合い、そして自分の言動を慎み、全ての人々に愛の手を差し伸べ、学問を怠らず、職業に専念し、知識を養い、人格を磨き、さらに進んで、社会公共のために貢献し、また、法律や、秩序を守ることは勿論のこと、非常事態の発生の場合は、真心を捧げて、国の平和と安全に奉仕しなければなりません。そして、これらのことは、善良な国民としての当然の努めであるばかりでなく、また、私達の祖先が、今日まで身をもって示し残された伝統的美風を、さらにいっそう明らかにすることでもあります。このような国民の歩むべき道は、祖先の教訓として、私達子孫の守らなければならないところであると共に、この教えは、昔も今も変わらぬ正しい道であり、また日本ばかりでなく、外国で行っても、間違いのない道でありますから、私もまた国民の皆さんと共に、祖父の教えを胸に抱いて、立派な日本人となるように、心から念願するものであります。

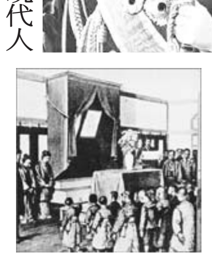
《「冬の夜」が作られた背景》

「冬の夜」は小学校の教科書の修身書から国策として作られた。その項目は、尋常小学修身書巻六児童用の「祖先と家」を反映させている。しかし、歌詩や曲調は倫理や道徳といった押し付けは無く、外は雪でありながら家庭の温かさを感じる。当時としては、日本全国の家庭がこのような光景であったことに違いない。唱歌は日本人全員が共有するテーマとして作られているからだ。過ぎし戦の手柄を語るという歌詩の戦とは日清戦争、日露戦争であるが、歌詩の中に戦という言葉が入っていても現代人が歌うには戦は感じない歌であろう。



教育勅語

明治天皇



小学校で教育勅語を読み上げている風景

《教材・修身教育》

教育勅語に従い学校で使われた教科書が修身書である。

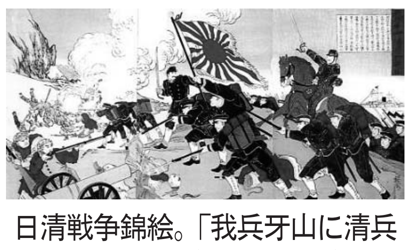
「祖先と家」

我等の家では、父は職業に励み、一家の長として我等を保護し、母は父を助け、一家の主婦として家事にあたり、共に一家の繁栄と子孫の幸福をはかってゐます。（中略）一家の中で、一人でも多くよい人がゐて、業務に励み、公共の事に力を尽せば、一家の繁栄を増すばかりでなく、また家の名誉を高めることになります。また僅か一人でも不心得の者がゐて、悪いことをしたり、務を怠つたりすれば、一家の不名誉となり、その繁栄を妨げます。（後略）

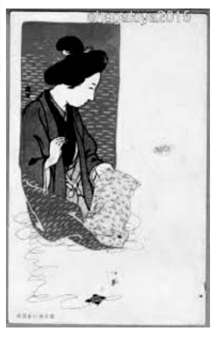
《戦後に排除》

太平洋戦争が終結し、教育勅語や修身教育が全て排除され、日本人としての素晴らしい徳育教育まで排除された。その結果、倫理道徳観が低下し、個人主義が尊重され、教育現場や家庭において様々な問題を抱え、日本人の美徳や美しい感性が低下したように思われる。唱歌「冬の夜」の歌詩は、戦前は当然の光景であったことが、現代では温かく感じると思う。

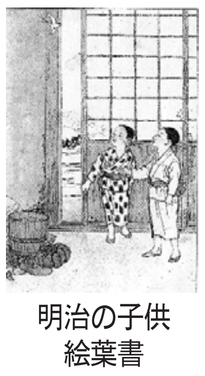
日露戦争勝利の兵士の凱旋・絵葉書



日清戦争錦絵。「我兵牙山に清兵を打敗の図」（揚州周延画）



衣縫う母・絵葉書



明治の子供 絵葉書

囲炉裏・絵葉書

尋常小學修身書 巻一
兒童用
文部省
十四 キョウダイ ナカヨクセヨ
十五 カテイ

修身書

小田原の味
蒲鉾
金土岩
厚生大臣賞（昭和50年）
農林水産大臣賞（昭和34・35・51・56年）（平成14年）
小田原市早川1－19－2
☎（0465）23－0361
FAX（0465）22－8228

新鮮さ、おいしさそのまま食卓へ！
Odawara 100 PANTRY
小田原百貨店
渋沢店 TEL.0463-88-1011
湯河原店 TEL.0465-63-2251
栢山店 TEL.0465-36-8566
寿町店 TEL.0465-32-0088
板橋店 TEL.0465-22-0055
真鶴店 TEL.0465-69-1888
南足柄店 TEL.0465-71-1125
山北店 TEL.0465-79-1101
協力店でどんどんたまる
ポイントカードでさらにお得！

～気ままな風の人になる～　箱根湯本温泉 あうら橘
箱根湯本の温泉街を見下ろす高台に
位置する「風の舘」は全室に天然温泉の
露天風呂を備えたリゾート空間です。
風の舘 アウターリビングと
客室露天風呂
森の舘2階カフェ＆バー「Grove」
料理長の腕が光る創作会席料理
ご宿泊料金（1泊2食付、サービス料、諸税込み）

	お部屋タイプ	平日	休日前	特日
森の舘	和室	16,350	19,590	34,710～
風の舘	和洋室	29,310	32,550	37,950～
	DXツインルーム	27,150	29,310	34,710～
	ツインルーム	24,990	28,230	33,630～

〒250-0311
神奈川県足柄下郡箱根町湯本574
☎0460-85-5541 FAX 0460-85-6586
E-mail aura-info@aura-tachibana.com
ホームページ http//www:aura-tachibana.com
Aura Tachibana
あうら橘

「小田原のお米がこんなにおいしいとは…」
小田原で獲れたお米販売しております。
小田原のお米（品種：キヌヒカリ）は財団法人日本穀物検定協会が行う食味ランキングでA'ランク（平成25年度）です。
お米の専門店
志村屋米穀店
小田原市浜町4-3-3 TEL.0465(24)2224(代)

◇小田原名産◇かまぼこ
かまぼこ製造販売
株式会社 丸又杉兼商店
小田原市本町三丁目六－一〇
電話 〇四六五（22）五〇五一

ハーフ65 半額利用証
65歳以上の皆さまに!!
箱根登山バスが半額で乗れる半額利用証!!
6か月間有効で 5,000円
65歳以上の方で、発行後6か月以内の運転経歴証明書をお持ちの方には、初回のみ無料にて発行いたします。
対象者 65歳以上の方
適用路線 箱根登山バス全路線（コミュニティバス・一部催事輸送を除く）
例えば170円区間を週2回往復利用すると、6か月で2,600円以上もお得です！
お問い合わせは・・・
箱根登山バス 小田原営業所 TEL. 0465-35-1271